



### 【団体概要】

環境問題を解決するためには、「気づいた人が、できることから行動していくこと」が大切です。当センターは、環境保全活動に関する情報の収集・発信基地として、また市民活動を市民がサポートし合う場として、立場を越えた多くの人が出会い交流できる場づくりを目指しています。

会員数：200人 設立 1996年12月

### 活動紹介

#### 実施体制

運営委員会・・・会の運営、ニューズレターの発行、環境保全活動情報発信や環境保全活動サポート、**環境学習講座の企画・運営** など事業ごとにプロジェクトを立ち上げ実施している

#### 【主な活動実績】

環境保全活動情報の発信（イベント情報発信やニューズレター発行）、環境学習講座の企画・運営及び指導者養成（小中学校・公民館などで環境学習講座、指導者のための宿泊研修会）、環境保全活動（自然観察会、谷津田の米づくり、メダカ分布調査、割り箸リサイクル）、など

問い合わせ先 住所：260-0013千葉市中央区中央3-13-17  
 代表者：小西由希子 電話：043-223-7807 FAX：043-223-7807  
 メールアドレス：hello@ceic.info URL：http://www.ceic.info/

### モデル事業

#### 里山で描く生き物まんが体験学習

- 事業期間：2008年9月7日～2009年1月30日
- 事業の目的：里山の生き物を観察し漫画を描く体験を通して、自然の豊かさや大切さ、生態系のつながり、保全の必要性などに気づき学ぶ。さらに作品展示により里山の生物多様性を広く多くの人に知ってもらう。

#### 活動の内容

1. 千葉市内でも最も多様性に富んだ自然が残る里山、緑区下大和田谷津田で、毎月自然観察を行った。（期間：2008年9月～2009年1月）
2. 生き物観察をして、まんがを描く。  
 自然観察は、感性豊かな指導で定評のある東京情報大学教授のケビン・ショート氏、漫画指導は、朝日小学生新聞などで人気のある新鋭の環境漫画家、つやまあきひこ氏にご指導いただいた。毎月の観察会と同じフィールドでおこなった。  
 （2008年9月13日）
3. 描いた作品をQiballアトリウムに展示し、谷津田の生物多様性について多くの人に知ってもらった。（期間2009年1月22日～24日）



生き物観察をして、まんがを描く

#### 今後の方向性

1. 次年度も下大和田地区の里山で月1回の自然観察会を開催する。
2. 2009年9月、本年と同じくまんが環境講座を開催する。
3. 参加者の描いた漫画の展示を行い、里山・谷津田の自然環境や生物多様性について広く知ってもらうきっかけとする。
4. 千葉県立中央博物館における生物多様性展において里山・谷津田保全活動のパネル展示を行う。